

大学でも進む節電対策 自然エネルギー導入も増加
第 3 回エコ大学ランキング No.1 エコ大学は名古屋大学に！
—第 2 位 岩手大学 第 3 位 郡山女子大学—

若者の環境NGO「エコ・リーグ(全国青年環境連盟)」は、日本の 167 大学法人に対して大学の温暖化・環境対策の現状に関する「全国大学環境対策実施状況一斉調査 2011」を実施いたしましたので、調査結果をお知らせいたします。また、その調査結果により決定した「エコ大学ランキング」を発表いたします。

3 年目となる今回の調査は、全国 744 大学法人を対象にアンケート調査を行い、そのうち 167 大学法人から回答がありました。第 3 回エコ大学ランキングの結果は、全国総合**第 1 位に名古屋大学、同 2 位に岩手大学、同 3 位に郡山女子大学・同短期大学部(以下、郡山女子大学)**が入賞しました。また、調査結果から今年の電力需要逼迫の影響などにより節電・省エネ対策の実施が進んでいることや、2010 年夏の猛暑の影響などによるエネルギー消費量の増加などが明らかになりました。

なお、本年 12 月 15～17 日に開催される「エコプロダクツ 2011」(主催: (社)産業環境管理協会・日本経済新聞社、会場: 東京ビックサイト)にて「第 3 回エコ大学ランキング」の表彰式を行います。

■総合 & 国公立部門 1 位 名古屋大学、私立大学部門 1 位 郡山女子大学

有効回答である 167 校のうち、総合 1 位は名古屋大学(575.5 点)となりました。昨年度のランキングでは総合 5 位だった名古屋大学は、猛暑日が続いた年となった 2010 年においても設備の更新などによってエネルギー消費量を前年度から大幅に削減するなどして順位を上げ、大規模大学として初めての総合第 1 位を獲得しました。また、昨年度は総合 6 位、私立部門 2 位だった郡山女子大学が、太陽光パネルによる自然エネルギーの積極的な導入や、省エネ・温暖化対策の推進などによるエネルギー効率の向上などにより私立大学部門第 1 位、総合順位でも第 3 位となりました。

■大学の CO₂ 総排出量は「12%増加」

今回の調査の結果、2010 年度の CO₂ 排出量の削減量が把握できた 164 校の内、排出量が前年度(2009 年度)より減少した大学はわずか 21 校(12.80%)に留まり、逆に 10%以上増加した大学が 26 校(15.85%)にのぼることが明らかになりました。また、今回の調査で判明した 164 校の CO₂ 総排出量は 281 万 tCO₂ で、これは日本全体の CO₂ 排出量¹ 11.45 億 tCO₂ の約 0.25%に当たります。2009 年度比で 12.28%増加した要因として、2010 年夏の記録的猛暑の影響などが考えられます。²

■電力需要逼迫の中での大学の節電・省エネ対策

今回の調査は、本年 7 月から 8 月にかけて調査を行いました。調査の結果、特に照明及び空調の運用改善や啓発活動での省エネ対策実施率が向上している大学が多く見られ、今夏の電力需要逼迫に際して大学でも節電・省エネ対策が進められている状況が明らかになりました。

¹ 政府が発表する最新のデータ (2009 年度)

² 但し、本調査で使用する CO₂ 排出量のデータは、各大学が提出したエネルギー使用量に全国統一の係数を使用して換算した暫定的な排出量であり、各大学が公表する実際の排出量とは異なる場合があります。

第3回エコ大学ランキング結果概要

総合順位(1000点満点)全 167 校

順位 (前年)	大学名	国公立	総合 得点	エネルギー CO ₂	環境対策 実施状況	環境 マネジメント	学生との 協働・教育
1 (5)	名古屋大学	国立	575.5	181.7	206.8	70.0	117.0
2 (2)	岩手大学	国立	538.1	131.3	237.8	46.0	123.0
3 (6)	郡山女子大学・同短期大学	私立	517.0	213.0	206.8	44.0	53.3
4 (3)	日本工業大学	私立	508.4	127.2	246.2	44.0	91.0
5 (12)	成蹊大学	私立	480.0	112.1	222.2	44.0	101.8
6 (45)	愛知教育大学	国立	469.1	246.1	164.0	23.0	36.0
7 (1)	三重大学	国立	467.2	31.2	235.0	61.0	140.0
8 (13)	フェリス学院大学	私立	452.7	126.4	200.2	29.0	97.2
9 (9)	千葉大学	国立	452.1	26.1	251.0	61.0	114.0
10 (7)	東京都市大学	私立	447.0	213.0	243.0	46.0	90.0
平均値			262.9	75.0	132.3	15.0	40.6

■全体の傾向と分析

調査結果を分析した結果、全体の傾向として昨年度の調査と比較して各大学の対策状況が改善していることが分かりました。2010 年夏期の記録的な猛暑などの影響により、多くの大学でエネルギー使用量が増えた一方で、節電要請などにより下位グループの対策実施状況が大きく改善しました。そのため各大学の得点差が小さくなり、全体として環境対策が進んでいることが分かりました。

各大学のエネルギー使用に伴う CO₂ 排出量は、2010 年度において前年度と比較して増加している傾向がみられました。調査年度の CO₂ 排出量の削減量が把握できた 164 校の内、排出量が減少した大学はわずか 21 校(12.80%)に過ぎず、10%以上も増加した大学については 26 校(15.85%)にも及びました。CO₂ 排出量が把握できる 164 校の総排出量は 281 万 t-CO₂ で、これは日本全体の CO₂ 排出量 11.45 億 t-CO₂ の約 0.25%に当たります。このデータと学生数を基に全国 744 大学の値に換算すると、日本国内の「業務・公共」部門の総排出量 9,357 万 t-CO₂ の 8.80%にあたります。

■設備更新でエネルギー大幅削減、進む自然エネルギー導入

総合第 1 位となった名古屋大学(愛知)には、工学部・理学部など実験系設備や医学部および附属病院などがあり、エネルギー消費量が多いことから、空調システムの運用改善及び設備機器の更新などで省エネを行う ESCO 事業を導入しました。その結果、猛暑が続く空調の負荷が高まった 2010 年においても都市ガスの使用量を半減させエネルギー使用量全体でも約 5%削減を達成しました。また、同大学は多くの他大学の担当者から参考にされていることが今回の調査で明らかになりました。対策が難しい大規模総合大学において、積極的に独自の取り組みを行っていることが評価につながったと考えられます。

総合第 2 位となった岩手大学(岩手)は第 1 回のランキングで総合第 1 位、第 2 回でも総合第 2 位となるなど常に上位の成績を収めています。同大学は優れた環境対策実施状況や学生組織である岩手大学環境マネジメント学生委員会との協働体制などを中心に全カテゴリで高い得点をあげました。

総合第 3 位、私立部門で第 1 位となった郡山女子大学(福島)は約 10 年で 29%(629t)の CO₂ 排出量削減を達成、高いエネルギー効率³、全消費電力のうち 3.6%を賄う高い自然エネルギー導入率などが好成績につながりました。

³学生数当たりのエネルギー使用量などにより算出

【環境対策実施状況】(290 点満点)

順位	大学名	国公立	得点
1	東京大学	国立	254.5
2	千葉大学	国立	251.0
3	日本工業大学	私立	246.2

■電力需要逼迫の中で進む、大学の節電・省エネ対策

照明や空調などの各種省エネ・環境対策の実施状況を調査し、その結果を得点化した「環境対策実施状況」部門では東京大学（東京）が 290 点満点中 254.5 点を獲得し、部門別第 1 位となりました。同大学の本郷キャンパスは東京都の業務系事業所の中では最大の CO₂ 排出者となっており、状況打開に向けて総長の下に東大サステイナブルキャンパスプロジェクト (TSCP) 室を設置して、学内で蓄積された研究成果を活用するなどしながら、様々な対策を実施しています。また、調査に回答した大学の調査時点（2011 年 7・8 月）での対策実施状況は、特に照明・空調の運用改善および啓発活動で前年度よりも改善が見られました。

【自然エネルギー導入率】

順位	大学名	国公立	全消費電力のうち自然エネルギーの占める割合%
1	東北公益文科大学	私立	6.16%
2	日本工業大学	私立	4.27%
3	郡山女子大学・同短期大学部	私立	3.61%

■小規模私立大学で進む自然エネルギーの導入

発電所の事故などをきっかけに電力供給の在り方をめぐる議論が注目を集める中、大学における自然エネルギーの導入状況も明らかになりました。全体の傾向として、導入率（全消費電力のうち独自に発電または購入した自然エネルギーの割合）の高い上位 10 校中 9 校が小規模（学生数 5000 人以下）、5 校が私立大学となり、小規模の私立大学で普及が進んでいることが分かりました。導入率が最も大きかった東北公益文化大学（山形）は、太陽電池モジュール 1872 枚（約 1900m²）を設置し、最大出力 250kw（一般家庭の約 100 世帯分）の電力をキャンパス内で利用しています。昨年同部門 1 位となった日本工業大学（埼玉）は、調査時点で全国の大学で最大となる 463kW の太陽光発電施設を導入しており、さらに来年春から追加分の 60kW を運用開始する予定です。

その他の部門別順位

【エネルギー・CO₂ 部門】(500 点満点)

1 位:愛知教育大学(246.1 点) / 2 位:福島大学(236.5 点) / 3 位:郡山女子大学(213.0)

【環境マネジメント部門】(70 点満点)

1 位:名古屋大学(70.0 点) / 2 位:千葉大学(61.0 点) / 3 位:三重大学(61.0)

【学生との協働・教育部門】(140 点満点)

1 位:三重大学(140.0 点) / 2 位:岩手大学(123.0 点) / 3 位:九州工業大学(122.0)

【エネルギー・CO₂ 削減率部門】(150 点満点)

1 位:福島大学(150.0 点) / 2 位:名古屋大学(115.0 点) / 3 位:札幌医科大学(102.0)

【自然エネルギー導入率部門】(150 点満点)

1 位:東北公益文科大学(93.0 点) / 2 位:日本工業大学(62.2 点) / 3 位:郡山女子大学(51.6)

【他大学の担当者に参考にされている大学部門】(カッコ内は選ばれた大学数)

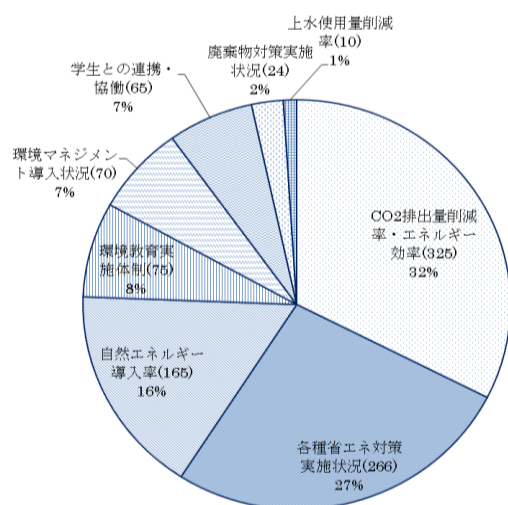
1 位:名古屋大学(8 校) / 2 位:千葉大学(6 校) / 3 位:東京大学(6 校)

全国大学環境対策実施状況一斉調査 2011 / 第3回エコ大学ランキング調査概要

- 【調査期間】 2011 年 7・8 月（各種エネルギー使用量の数値については 2010 年度の実績値）
- 【調査項目】 エネルギー使用量、自然エネルギー導入量、環境対策実施率、組織体制、環境教育、学生との連携などに関する 204 項目
- 【調査方法】 対象大学に対してアンケート票を送付、回答内容を集計・分析
- 【調査対象】 国内 744 大学法人（大学院大学を含む）
- 【回答数】 172 校 / 有効回答数：167 校
- 【評価方法】 下記の 4 セクション、全 98 項目を 1000 点満点で評価

第3回エコ大学ランキング評価指標内訳（1000 点満点）

No.	セクション名	配点	内容・評価基準
§ 1	エネルギー・CO2	500	・エネルギー使用量、および CO2 排出量削減率 ・エネルギー効率（学生 1 人あたり・延べ床面積あたりの使用量など） ・自然エネルギー導入率 など
§ 2	環境対策実施状況	290	・照明、空調、断熱などの各種省エネ対策実施率 ・廃棄物対策実施状況 など
§ 3	環境マネジメント	70	・専門部署の設置 ・EMS 導入状況 ・環境報告書の作成 ・他大学から参考にされているか など
§ 4	学生との協働・教育	140	・環境関連部局設置状況 ・意識啓発活動実施状況 ・学生活動の支援状況 ・学生との連携・協働状況 など



なお、調査やランキングの詳細な結果は、12 月に発行する「全国エコ大学白書 2011」に掲載 する予定です。白書の入手方法については 12 月中旬に下記エコ・リーグ HP 上でご案内いたします。

【団体概要】

■エコ・リーグ（全国青年環境連盟） <http://el.eco-2000.net/>

1994 年に設立した、若者の環境 NGO。全国に 300 以上ある学生の環境サークルを緩やかにネットワークし、環境活動の底上げを行っている。

■キャンパスクライメートチャレンジ実行委員会 <http://ccc.eco-2000.net/>

エコ・リーグの実行委員会として、大学での省エネ、自然エネルギーの普及、啓発等のプロジェクトを展開。海外の同様の学生プロジェクトとも連携している。本事業は、平成 22 年度 地球環境基金の助成を受け実施しています。

【本件に関するお問い合わせ】

エコ・リーグ（全国青年環境連盟）CCC 実行委員会 担当：上地・福島

TEL・FAX：03-5225-7206 E-mail：ccc@eco-2000.net

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 2-19 銀鈴会館 507

■総合第一位：名古屋大学 施設管理部環境安全支援課 TEL:052-789-2093

■総合第二位：岩手大学 環境マネジメント推進室 TEL:019-621-6911

■総合第三位：郡山女子大学・同短期大学部 環境委員会 TEL:024-933-1955